

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	03	01	184190	河川排水路改修事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	2	自然災害対策の強化			
目的	水害の防止					
対象	河川・排水路沿線の住民(市民)、整備が必要な河川、排水路					
意図	河川・排水路が氾濫しないように整備する。					
	河川・排水路の健全な環境を整備する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【27年度】 排水路整備 13カ所 工事延長L=443m ((籠堰排水路、田中地区排水路、二枚橋排水路、湯本地区排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢口川、湯沢野排水路)						
【28年度】 排水路整備 13カ所 工事延長L=735m ((籠堰排水路、田中地区排水路、湯本地区排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢口川、湯沢野排水路)						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	当該年度の河川排水路改修工事発注件数	件	計画	8	6	
			実績	8	6	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	氾濫常襲箇所改修率 (3箇所：全1,465m)	%	目標	27.0	46.9	
			実績	33.5	45.2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成25年度から現在改修計画中の氾濫常襲箇所 (3箇所) の計画延長に対する各年度の改修予定延長の割合を目標値として設定する。 氾濫常襲箇所の改修率=改修延長/氾濫常襲箇所計画延長 (3箇所：1,465m)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・公共施設である排水路、小河川整備なので妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・以前より有効な土地利用、最適工法選定、コスト削減策の検討に取り組み、工事費の削減を図り整備延長の延伸に努めている。 ・そのため、予算内での更なる有効性の向上は困難である。 ・今後も地域の整備要望に応えるため現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・改修箇所ごとに最適な工法、仮設の比較検討、コスト削減の検討に努めている。 ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限の事務を行っている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・公共物である排水路、小河川の自然災害を未然に防ぎ、良好な住環境の創出に係る事業であり、受益者負担は公平、公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・改修箇所ごとに適正な工法検討、コスト削減の検討を図り、工事費の削減に努めている。 ・その成果から、できるだけ整備延長の延伸を図り、事業推進に努めている。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	08	03	01	184190	河川排水路改修事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		79,147	233,897		154,750
財源内訳	国・県				
	地方債		195,400		195,400
	その他				
	一般財源	79,147	38,497		△ 40,650

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標

安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯

水害防止、河川水路の環境整備のため改修工事を実施している。現在は各地域からの要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

【27年度】

排水路整備

13カ所 工事延長L=443m (笹堰排水路、田中地区排水路、二枚橋排水路、湯本地区排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢口川、湯沢野排水路)

【28年度】

排水路整備

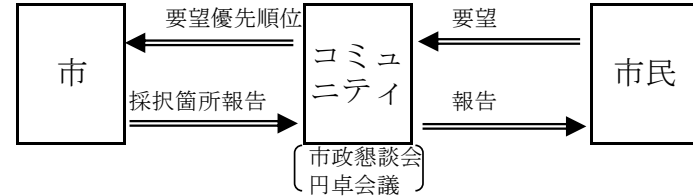
13カ所 工事延長L=735m (笹堰排水路、田中地区排水路、湯本地区排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢口川、湯沢野排水路)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・工事の計画、設計は説明会の開催等により地域住民の意向を十分捉え、ニーズに応える。
- ・計画、設計に対する発注者側の精度を上げるため、最適工法、新技術、コスト削減策に対する情報収集(インターネット、情報誌、研修会等の活用)に努める。
- ・要望箇所の内容を見極めるため、現地踏査により現地を把握し必要性を再確認して地元協議等に取り組み、有効的に要望箇所の整備を進める。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 重茂 猛 内線 547 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【26年度】

- ・排水路整備事業(氾濫常襲箇所) 3箇所
(雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路)
工事延長 L=186m
- ・排水路整備事業 13箇所
(笹堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、大谷地地区排水路、南万丁目排水路、湯本地区排水路、八日市地区排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、宇南川、田中排水路)
工事延長 L=198m
事業費 121,040千円

【27年度】

- ・排水路整備事業(氾濫常襲箇所) 3箇所
(雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路)
工事延長 L=155m
- ・排水路整備事業 10箇所
(笹堰排水路、田中地区排水路、二枚橋排水路、湯本地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢口川)
工事延長 L=443m
事業費 133,740千円

【28年度】

- ・排水路整備事業(氾濫常襲箇所) 2箇所
(雀田川排水路、湯沢野排水路)
工事延長 L=151.9m+40m=191.9m
- ・排水路整備事業 11箇所
(笹堰排水路、湯本地区排水路、大谷地地区排水路、南万丁目地区排水路、川原町排水路、上沢川、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢口川)
工事延長 L=852.066m
事業費 233,896千円

※年度ごとに地域要望の状況により、予算内での別箇所対応もあり得る。